

ISSN 1340-2412

調査研究報告書 No.78  
1995

## 精神薄弱者の職業能力開発に関する実態調査

雇用促進事業団  
職業能力開発大学校研修研究センター

## 研究プロジェクトメンバー

八木原 壮 夫	日本障害者雇用促進協会 東京障害者職業センター 多摩支所
小 野 勝	神奈川障害者職業能力開発校
村 上 宦	愛知県心身障害者コロニー 春日台職業訓練校
仲 野 均	京都府立城陽障害者高等技術専門校
森 山 正 義	兵庫障害者職業能力開発校
館 暁 夫	職業能力開発大学校 福祉工学科
山 川 明 子	職業能力開発大学校 開発研究部
香 川 繁	職業能力開発大学校 開発研究部
佐 藤 伸 夫	職業能力開発大学校 開発研究部
江 後 七 郎	職業能力開発大学校 開発研究部

# 序 文

国際障害者年を契機として、高年齢者も若年齢者も障害を持った人も持たない人も全て一緒に通常の生活をする事ができる社会いわゆるノーマライゼーションの考え方と共に、障害者に対する職業リハビリテーションの必要性が問われて久しい。また、最近では、障害の重度化・重複化に伴い、障害者の職業能力開発を行ううえでも様々な対応が必要となっている。とりわけ障害者の持つ作業能力・興味・関心を生かした職業能力開発を行うことは障害者が職業に就くうえで重要なことといえる。このような状況のなかで、特に精神薄弱者に対する職業能力開発においては、障害の特性を考慮した訓練指導方法が確立されておらず、訓練現場からはその確立が強く求められている。

このため、労働省からの要請により、当研修研究センターでは、プロジェクト研究として「精神薄弱者訓練における指導方法のあり方に関する研究」（研究期間2年）を行うこととした。

研究の初年度にあたる本年度は、本研究を行っていくうえで必要な基礎的なデータ資料を得ることに努めたが、精神薄弱者訓練を実施している障害者職業能力開発施設に対して、職業訓練の実態を訓練指導の面から把握することを目的に「職業能力開発施設における精神薄弱者訓練実態調査」を実施し、さらに、職業能力開発が企業の中でどのように生かされているか、企業は職業能力開発施設に対してどのような訓練指導を期待しているかを把握するため、訓練修了生が就労する事業所に対して「就労先事業所に対するアンケート調査」を実施した。

本報告書は、これらの調査の結果をまとめたものであるが、各障害者職業能力開発施設及び精神薄弱者の訓練指導に携わる方々にとっても参考になることと思われるので、活用して頂ければ幸いである。

本研究の実施に当たって、調査にご協力頂いた施設・事業所や指導員の方々、関係委員等の方々に厚く御礼申し上げます。

1995年3月

職業能力開発大学校

研修研究センター

所長 城 哲也

調査研究報告書 No.78  
精神薄弱者の職業能力開発に関する実態調査

---

---

発行	1995年3月
編集・発行人	職業能力開発大学校研修研究センター 所長 城 哲 也 〒229 相模原市橋本台4-1-1 TEL 0427-63-9047(広報普及室)
印刷	株式会社 芳文社 〒160 新宿区新宿1-27-1 TEL 03-3356-5887

---

---